



## カンボジアの青い空



富山県カンボジア王国親善協会

## 第5回総会を迎えて

富山県カンボジア王国親善協会・会長  
阪神化成工業(株) 代表取締役社長 高田順一

初夏の候となり新緑が美しく輝く頃となりました。富山県カンボジア王国親善協会の皆様にはますますご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。また日頃は協会の運営に関しまして、格別のご協力をいただき厚く感謝を申し上げます。おかげさまで第5回総会のご案内とともに会報誌「カンボジアの青い空」をお届けすることができ喜んでおります。

今年の冬はことのほか寒さが厳しく積雪量も例年を凌ぎました。特に1月2日の厳寒期には繰り返し寒波が押し寄せ、久しぶりに北陸の厳しい生活を余儀なくされました。そんな現実から逃れるためではなかったのですが、カンボジアの青い空を求めて2月10日から14日まで第3回のカンボジア王国親善訪問をいたしました。今回は長年にわたりランドセルの寄贈活動をされている富山ライオンズクラブの会員の皆様とご一緒に訪問団を結成いたしました。今回初めて参加されました皆様もいらっしゃいましたので、参加者それぞれカンボジアに対する思いや期待があり、それぞれの旅の目的に沿った日程をたてて頂きました。



心は跳んで、天空は碧し!

左より、泉野・高田・宮岸・精田のプロ先生方

私は前回シェムリアップの空港を飛び立って直ぐ眼下にゴルフコースを見つけ、次回来るときはここでゴルフをしようと決めておりました。今回はそのコースではなかったのですが、シェムリアップにある3つのゴルフ場の中のアンコール・ゴルフリゾートでプレイすることができました。このコースはマスターズや全英オープンを何度も制したイングランドの名プロゴルファー、ニックファルドが監修したコースです。このコースではプロの競技会が開催されるとのことで、ファルド・ティと呼ばれるコンペティション・ティを使用すると全長7,279ヤードという距離があります。そして真っ平らな地形です。難度を増すため、18ホール全てに池、クリークといったウォーターハザードが絡みます。ご一緒しました宮岸さんはコースのレイアウトを知ると、プロショップでボールを買い足されていましたが、まことに賢明な判断でした。グリーンはよく手入れがしてあり球の転がりも問題ありませんでした。問題だったのはコースから池の方に傾斜している部分のラフが刈ってあることで、池への転がりを止めてもらえないということでした。キャディさんはみんな若く明るい女性ばかりで笑顔を絶やしません。日本の夏以上に強い陽射しと暑さでしたが、乾燥しているので我慢できないくらいではありませんでした。二人乗りの電動カートで走りますから風が爽やかで快適です。キャディさんはカートの荷台にゴルフバックと一緒に立っています。プレーの後のアンコールビールがとてもおいしく感じられました。

この季節のプレイは快適でしたが、雨季に増水した池やクリークがどのように変化するか興味があります。私たち以外にプレイしているのはほとんど韓国からのお客さんでした。韓国からカンボジアには直行便があり便利です。やはり韓国は景気が良いのだなと感じました。今回の旅行ではワンラウンドだけのプレイでしたが、ゴルフの同行の仲間を募って再訪問し、数回のラウンドとマッサージでゆっくりカンボジアでの休暇を過ごしたいなと思っています。

今回の訪問で皆さんがそれぞれ体験記を記されると思いましたので、私からはカンボジアのゴルフ情報をお知らせ致しました。

## ランドセルに想いを馳せて！

富山ライオンズクラブ  
ランドセル特別委員会 委員長  
萩浦工業(株) 代表取締役社長 齋藤 博

富山ライオンズクラブの「カンボジアの子供達にランドセルを」の事業も6年目になりました。シェムリアップでのランドセル贈呈式に出席することになり、2回目のカンボジア訪問となりました。1回目の贈呈式は、2007年6月にプノンペン郊外の小学校を訪問しました。その時は富山ライオンズクラブの先輩ライオン3人を含む5人の訪問でしたが、今回は富山県カンボジア王国親善協会の皆様との合同の訪問となり、大変にぎやかな楽しい旅行となりました。例年以上に寒い2月の富山から、夏の様な暑いカンボジアへの移動でしたが、夏が大好きな私にとっては、大変快適な旅行となりました。

小学校の贈呈式では、校庭の木陰に300人近くの子供達が集まって私たちを迎えてくれました。シェムリアップの教育長も出席され、子供達の明るい笑顔を受けながら、木漏れ日の中での素晴らしい贈呈式となりました。

国の貧しさは学校教育の面でも出ており、一年生で入学した子供は卒業の時には25%程に減ってしまうという、大変厳しい状況もお聞きしました。しかし、1回目の訪問から5年経過していましたが、色々の面で少しずつ前進し豊かになっていることも実感することが出来ました。

今回もアンコールワットを訪問し、改めてその壮大な規模(第1回廊200m×180m、高さ最高65m)と、細部の造形、なかでも壁面の空間を埋めつくす女神(デヴァター)像等のレリーフは、美術品としても素晴らしいものだと思います。アンコールワットを始めとする遺跡の保存、修復については、日本も積極的に参画しており、特にカンボジア人による、カンボジア人の為の保存、修復をコンセプトとして人材育成に力を入れていることを知りました。修復はカンボジアの風土に培われた美意識でカンボジア人によってなされるのが一番だと思いますので、日本の協力によって立派な人材が沢山育ってくれればと願っています。

カンボジアは仏教の国だからか、何となく他の国の人達より親しみを感ずる国だと思います。今はまだまだ貧しく発展途上の国ですが、将来は日本の良きパートナーとして大きな力を付けてくるものと確信しています。何百年も前に、世界遺産となったあれだけのものを造る素晴らしい美意識と、溢れるばかりの大きなエネルギーを持った優秀な民族です。その埋もれた力を発揮する為にも子供達の教育に力を入れてゆくことが大変重要なことではないかと思われまます。

これからも富山ライオンズは、その様な観点から、カンボジアの子供達の応援が出来ればと思っています。富山県カンボジア王国親善協会の皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



2月11日(金曜日) ランドセル贈呈式  
堂々たる、齋藤博特別委員長の名演説。



それを受けて、小学生代表の挨拶  
クメール語でチャ、ナーン分らんチャ？

## ランドセルへの思い！

株式会社 ハシモト  
代表取締役社長 橋本洋二

第三回カンボジア王国親善訪問団に次女(大学4年生)と参加した。平成18年から富山ライオンズクラブさんが主体となり、実施されている「カンボジアの子ども達にランドセル等を贈る活動」に係わってきた1人として、今回の参加は、初めてのカンボジアへの興味、ランドセル贈呈セレモニーへの参加、及び、今まで贈られたランドセルが子ども達にどう利用されているのか、自分で見たいとの思いからだった。

2月11日(土)同LCのメンバーと共に、アンコールトム近くのシェムリアップ市のアンコールクウ小学校を訪れた。300名前後の小学生、父兄、先生方の拍手の中、大きな樹々で日陰になっている校庭に通された。さっそく贈呈式が行われた。斎藤博・同LCランドセル特別委員長のあいさつの後、100人の2年生1人1人に新品のランドセルを手渡した。

この小学校は午前と午後の二部制になっており1年生から6年生13クラスで661人の生徒が在籍している。裸足の子どもも多数目につく。1年生から2年生に進級する時に家の都合で学校に来れなくなる子どももいる様で、今回2年生に手渡した新品のランドセルは、続けて学校へ来たことへのご褒美でもある様だ。生き生きと輝く瞳と表情が印象的だった。

今回手渡ししたランドセルは、平成23年1月に同LCにプレゼントした2,000ケの内の1,000ケ分と聞いている。昨年3月11日に東日本大震災が発生した為、同LCに無理をお願いし、東北・宮城県の小学生に残りの1,000ケ分を富山県庁窓口で送付していただいた。

カンボジアであれ、宮城県であれ、子ども達が喜々として使っているのを見ると、大変うれしく思い、小学校の通学鞆としてランドセルを提供できることに、ある種の熱い思いを感じた。

裸足の子ども達も目につく小学校。いろんな物品が不足している様に見受けられるがCHEANOLさん(チアノルさん-JST代表・JASA団長補佐)と小出陽子さん(早大建築家OG、神奈川県出身)夫婦、ゴトウフミオさん(新潟県長岡市在住-1998年に建物を鉄筋にするのを応援)、富山の株式会社・三田商会さん等々の協力、応援の元、一生懸命勉強しようとする子ども達。物質的に恵まれすぎている日本の子ども達に、是非見て欲しいと思う。

感謝の言葉を述べてくれた6年生(15歳)の女生徒、同行した次女(4月から東京で就職)も何か熱い思いを感じた様だ。

今後も出来る範囲で、上記の活動に微力ながらも応援していければと考えている。



素足の中に、真剣な眼差し。



娘さんより、“父ちゃん格好いいわ〜”



## カンボジア訪問と研修生について

◆ランドセル贈呈式と面接試験を兼ねて

阪神化成工業株式会社  
総務部長 門前昌志

### スオ スダイ！ 門前です。

今回は、“富山ライオンズクラブのランドセル贈呈セレモニー”そして、ツアーを企画した“富山県カンボジア王国親善協会訪問団の中村事務局長サポート役”として参加させて頂きました。

自身二度目のカンボジア訪問で、現地の事はある程度理解していましたが、初めてカンボジアに行かれる方も含めた訪問団25名のお世話と、行事の確認、現地旅行社との連絡等、貴重な体験をさせて頂きました。何度かハプニングもありましたが、現地の方や訪問団参加の皆さんの寛容な暖かい心で助けられました。全員無事に富山に着いた時、ホッとしたことを思い出しました。

さて、今回訪問の目的の一つ、会社で採用する外国人技能実習生の選考の為、現地研修生送り出し機関と日本語学校に行きました。今回は、角工場長と石川県の研修生事業を運営する高桑さんと一緒に、当社の第三期カンボジア研修生4名を選考。適正検査(日本厚労省推薦の検査)、グループ面接(家庭環境や仕事の経験)、視力検査(検査業務に必須)を実施し、無事目的を達成致しました。

この研修生(技能実習生)の制度は、1990年頃、日本の関係各省庁の出先機関として国際協力機構(JITCO)を設立し、後進国の働く若者達に、一定期間(原則3年間)限定で、日本の先端技術を習得し、母国でその技術を生かしてもらう事を目的に発足し、すでに20年以上続いている制度です。当社は、2001年からこの制度を利用させて頂き、富山市と友好中国河北省秦皇島市の送り出し機関より受入れを開始。現在では中国各地とカンボジアからの研修生を含め、県内外の4工場で約100名の研修生が実習しています。

富山県カンボジア親善協会発足時、現地に精通する方を紹介頂き、2年前4名、昨年4名、計8名が富山工場で活躍中、今回内定した4名もこの秋には入国後、茨城工場で3年間実習予定です。カンボジアの送り出し機関は、日本の企業の実態を把握しており、日本に送り出す事前教育で語学教育を成績にあわせたクラス別に実施しているところが特徴で、日本入国後も言葉の壁がほとんどなく、日本入国後、一ヶ月間の導入研修もスムーズに行え、現場実習(加工・検査)へも支障なく現場へ引継ぎができることが最大のメリットです。

カンボジアでは、日本に行くことを夢に、素直で真面目な、多くの若者達が、日々語学教育を中心に、一生懸命勉強しています。皆さんの企業でもカンボジアの研修生を受け入れてみてはいかがでしょうか。

チョムリアップ リア (さようなら)



2月13日

いなほブノンペン日本語学校訪問

右ページ実習生の母校であり、彼女たちの母親との記念撮影

# 富山大好き頑張り記！

出身地 全員カンボジア王国  
来富日 2011. 11. 20  
勤務先 全員、阪神化成工業株式会社



ピン ソピアップさん  
愛称 ピンちゃん(24)



サオ キムリィーさん  
愛称 サオちゃん(21)



ヨス シーヨレットさん  
愛称 ヨスちゃん(25)



アン スレイダアさん  
愛称 アンちゃん(23)

## ◆ピンちゃんからのメッセージ

私は初めて日本へ行きました。日本に来て仕事をするためです。私は阪神化成工業で仕事をしました。工場はとても大きいです。私は入る時にとても面白かったです。なぜかというときかいが多いだし人はたくさんいました。とくに衛生がありました。中国人と日本人とカンボジアもいました。私の社長はとてもやさしい人です。そしてしんせつです。みなさまとてもやさしいです。毎日私はみなさまと話したいなとおもってでも日本語が上手ではありません。

今年私たちは桜へ見に行きました。とてもきれいです。私は見る時に気持ちいいです。

私のりょうで大きいです。中国人とすんでいる。前は日本に来るとき、ちよつとこわい気持ちがあります。そして仕事もありますが今はもう大丈夫でした。日本にはとてもたのしいです。

雪もあります。私の国は雪がありません。仕事をやるときに何も見えない。目だけ見える。なぜかという衛生のためにです。私は気をつけて仕事をもっと頑張ります。

## ◆サオちゃんからのメッセージ

今回お初め日本に来て本当に素晴らしかったです。家族も大喜びました。飛行機乗る事、夜汽車、雪、色々な事が多くてかぞえられないぐらいで私にとって新しいものでした。会社勤めはお初めてですのでもちろん困る事がたくさんあるだと思いますのでご迷惑をかけて申し訳ございませんでした。

一カ月の最初は会社行く前に「今日なにをする。どうなりますか。でもどうしてもAを取らなければなりませんよ。がんばります」と感じています。主任から「カサさん、どんな仕事にもチャレンジしよう」と言われました。いつもこの言葉を思い出して強く力になって頑張ろうと決心しました。今仕事が慣れると楽しく検査しています。体も元気でした。私は仕事して家族の生活をたすけられてとても嬉しかったです。

社長の御蔭様で日本に来る事ができて本当にどうもありがとうございました。三年間いる間にチャント仕事をして、日本語、人間関係にもマップしたいと思っています。

## ◆転記者からのメッセージ

4名とも、20×20文字の原稿用紙に鉛筆書きの日本語でした。原文通りに転記し、手直しはして有りません。「**てにおは**」よりも、

## ◆ヨスちゃんからのメッセージ

はじめまして。ヨスともうします。カンボジアから参りました。初めて、日本に来る時に、とてもびっくりしました。道にはすごくきれいだしゴミもありません。そして、建物が多いし車もたくさんあります。ところが、日本料理と言うと寿司をもう食べました。とてもおいしかったです。さらに、お米もおいしかったです。今はちよつと前より太っています。

十二月に阪神化成に働くことになりました。工場での正社員からいつも助けていただいて、本当にうれしいです。特に主任と班長がとても優しい人です。自分の国じゃないけど心が暖かくなっています。毎日、中国の実習生と一緒に生活をしています。みんなと仲良く暮らしています。今は日本での生活と天候は、もう慣れました。そして、生物も食べられるようになりました。

日本に三年の間にもっともっと仕事と日本語の勉強を頑張りたいです。最後に、皆さんに伝えたいことがあります。本当に本当にありがとうございます。

## ◆アンちゃんからのメッセージ

今回初めて日本に来ました。日本はとても素晴らしい国だと思います。十二月二十日に富山県に来ました。会社にも初めて仕事をしますのでもちろんご迷惑を掛けると思いますので、本当に申し訳ありません。

ここに来る前にずっと不安だし、心配していました。仕事どうやってしてるだろうか？生活もどうなるだろうか？ずっとずっと怖かったです。ただし目上の方も一緒に仕事しているの皆様がどうしても優しく説明してくれて理解できるようになりました。生活も大丈夫です。今はすごくうれしくて安心して います。毎日毎日楽しく仕事をしています。不安もなくて皆さんと仲良くできて良かったんです。ところで今月の十五日に桜と言うを花見しました。とても素晴らしくてきれいでした。花見だけではなく先輩の方が色んな所に連れてくれました。大変楽しくてラーメンも美味しかったです。

社長の方が日本に来らせてくれて応援してくれてずっとずっと感謝しています。

数多くの漢字入りに吃驚しました。また、余りにも人間性に溢れており、**涙なみだの転記**でした。私ならば外国では生きられない。**とっても淋しく惨めになりました。**

## (株)タイワ精機現地工場訪問

富山コピー販売(株) 代表取締役社長  
富山県カンボジア王国親善協会 事務局長  
中村政勝

2月13日(月) 午前8:30分、五つ★クラスのインターコンチネンタルホテルを出発する。1年2ヶ月振りに、懐かしい「ブティ モニラ」さんに逢える。彼の肩書はゼネラルマネージャーで、タイワ精機カンボジアの現地責任者である。前号の2号3号でも紹介しているが、颯爽たる好青年である。

今日は、A班B班合同で有る。大型の観光バスで飛ばすこと約40分で、目指す試験工場に到着する。首都プノンペン郊外とは言え、我が実家の旧大沢野町・葛原と良く似た雰囲気、親しみと懐かしさを覚えた。家屋の周りには、葛原と同じ様に堂々とした木々が植えて有る。この優しい静寂の中での精米試験工場ならば、必ずや近々にも**優しいカンボジア産米**が成功すると確信した。



工場には精米された米が山積みされていた。**長粒米を精米**する、特殊加工に成功したのだ。

ちなみに、日本の米は親指に似た**短粒米**で、3分搗きでも、5分搗きでもわりかし自由自在に搗けるのだそうだ。

しかし、**長粒米**はそうはいかない。チャーハンを見れば良く解る。小指の様に細くて長く、しかも少し曲がっている。よって、粒と粒との**磨りおろし**が至難の業である。要するに、「**米ぬか**」が出る前に米が折れてしまうのだと**想像**する。しかしながら、あの米でなければあの**チャーハン**は出来ないし、あの**チャーハン**は、あの米でなければ絶対に出来ない、と誰しもが思うだろう。

だが、**要は、カンボジアの、精米技術が脆弱と想像する。**

## ◆カンボジア産で何故悪い？

カンボジアでは、**モミ**のままタイやベトナムにかなりの量が**輸出**されていると聞く。

そして、**タイ産**として、**ベトナム産**として、**逆輸入**されていると聞く。

これを、**カンボジア産**として、**自国米**として食する事こそ、本来の正しい姿であろう。

そしてまた、**世界に誇るカンボジア産米**として、大いに輸出し、国家隆盛の一助になれば・・・。

カンボジアは仏教国である。国民の90%ほどと聞く。また、数少ない立憲君主制国家でもあり日本人として一種の親しみが湧く。面白いのは、ビジネス言語であり、それは英語である。

英語は東南アジアでは、シンガポールとの2ヶ国だけである

※東京商工会議所データより

## 今後のスケジュールは如何に？

### 2012年8月

昨年試作成功した精米プラントよりも、2～3倍(毎時2～3トン)の精米能力の有る機械を、プノンペンに送る。

本年9月～12月に性能試験を行う。

よって、昨年の小型機と本年の中型機の、2機種となる。

### 2012年11月

**プノンペンの経済特区にて、組み立て工場建設**に着手する。

### 2013年3月

**現地生産**を開始する。

カンボジア人(現在3人)を、別途5人採用してまず8人でスタートする。富山本社から3人の指導員の派遣を行い、11人体制と目論む。

## フンセン首相を訪問！



本年2月16日 首相官邸を訪問。

左マイク前、フンセン首相

右マイク前、タイワ精機・高井会長と高井社長

## カンボジア長粒種米と私の夢

タイワ精機カンボジア  
ゼネラルマネージャー ブティ モニラ

いつの間にか、帰国してから一年四ヶ月が経ちました。長い間日本の生活に慣れていた私は、しばらく日本シックでした。カンボジアの生活はちょっと不便かなと思っていましたが、時間が経ってどんどん自分の生まれた場所の生活に戻れました。でも、たまにコシヒカリのお米が食べたくになります。今年の一月頃にカンボジアの長粒米の新米を食べました。味は美味しくて、富山のコシヒカリと近いです。カンボジアには温度コントロールされているウェアハウスが無いので、時間が経つとお米の味も変わってしまいます。

タイワ精機のプラントでずっと長粒種米の精米試験をしていましたが、タイワ精機の機械設備は良く、日本製のため色んな人が見学に来ました。カンボジア人は皆日本製が大好きです。同じ値段で他の国の新製品よりも日本製の中古物を買う。正直に言うと私もそう考えています。なので、精米工場の方々からタイワ精機の機械をいつ手に入れますかと良く聞かれました。

今カンボジアの長粒種米は年間400万トン以上も余っています。これは大体年間で一回しか作っていない。今までそのお米に付加価値を付けられずに籾状態でベトナムかタイに輸出していましたが、これからカンボジアの政府がカンボジア米ブランドを世界に知らせたいため、2015年には、白米100万トン以上を輸出する予定です。その影響がありカンボジアで精米工場を持っている会社は皆、良い機械に入れ替えしたいと考えている所がたくさんあります。



3月22日 第一ホテル歓迎会。左＝モニラさんと中村。右＝モニラさんと阪神化成第1期生

タイワ精機は一生懸命一年間掛かって長粒種米用の機械テスト確認をしました。そして目標をやっとクリアしました。良い結果が出たため、カンボジアのフンセン首相に報告を致しました。その時のもようが全国のテレビや新聞などで報道されていました。全国の皆さんがタイワ精機のことを知っていると思います。

私の夢は「タイワ精機カンボジア」という会社をカンボジアで成功させることです。ポルポド時代で生まれた私は今までたくさん大変な生活を経験しましたし、世界の皆さん、特に日本の皆さんにも大変お世話になりましたので、カンボジアはこれから自分の力で生きていくために、カンボジア人は力を合せて頑張らないといけません。

そのために私はタイワ精機の会社で頑張っ、現地で性能が良くて価格が安い機械を作って、カンボジアの農民に使ってもら。会社が大きくなったらカンボジア人の仕事が増えるし、良い機械を使えたら、良い米を作れて付加価値が高くなりその形で私はカンボジア開発の協力になると考えています。

### カンボジア人、富山県第一号の企業入社

## ブティ モニラさんの経歴紹介

名前 VUTHY MONYRATH (カンボジア人)

生年月日 1977年2月2日 カンボジア・プノンペンで誕生

(実父はポルポドの粛清の犠牲となり、母親に育てられた)

### 略歴

2002年7月・カンボジア王立プノンペン大学外国語学科英語科卒業

2006年4月・千葉大学大学院自然科学研究科博士課程入学

2010年3月・千葉大学大学院自然科学研究科博士課程卒業

2010年1月1日・(株)タイワ精機に正社員として入社/研究部所属

2010年11月30日・研修期間終了

2011年1月・現地法人Taiwa Seiki (Cambodia) Corporationへ出向。

2012年3月22日 カンボジアでの精米試作機完成報告に来日。

◆下図写真＝帰朝報告を兼ねての、歓迎パーティ。



## 研修生の母校紹介

### ◆学校経歴

開校・・・2010年6月6日

母体・・・茨城県いなほ協同組合、稲富浩一理事長

開校式・・・2010年6月30日

来賓・・・NORODOM SIRVUDH殿下（前国王の実弟）

・・・篠原勝弘前駐カンボジア大使

### ◆本校及び関連日本語学校と生徒数

①プノンペン校・・・約200名在籍

②カンダール校・・・約100名

③タケオ校・・・約50名

④ポーサット校・・・約50名

教師・・・全員カンボジア人

学歴・・・プノンペン大学日本語学科卒業生中心

### ◆学校運営の特色

①3ヶ月に1回の、日本語テストを行い、成績によってクラスを、A～Eの5クラスに編成。

②よって、日本への派遣実習生は、**生活・仕事・日本語**への順応は充分である。

③寄宿舎を用意し、勉学に燃える学生への支援。



日本語授業の風景 2階5室の1室



高田会長・角工場長＝職員室での実習来日予定者と。



## プノンペン本校の全景

何とも不思議な風景で、体がチクチクッと振るえて圧倒されてしまう。どことな～く貴族か大臣の住居かと見間違える。多分そうだったのだろう？

教室のほかに、大きな食堂、運動室。裏庭には大きなサッカー運動場もある。

プノンペン校には、遠隔地から来た生徒が54人いる。その生徒の寄宿舎は、学校の四階にある。そして、食事も寮費も含めて無料である。

阪神化成に来ていた実習生は実におおらかで、素直で愛らしいといつも思っている。国柄と同時に、学校経営方針も大いに影響しているものと推察する。



## 日本語の先生になりたいです！

私は、ホイ フルです。14歳です。

ピムオクニャオン小学校の六年生で勉強しております。カンダル州のプレクタオン村に住んでいます。私の父の名前は、スン オルです。母の名前は、シァク ピアです。

毎日、両親は農業をやっています。学校で勉強し終わってから、服を洗濯し、家事を手伝っています。そして、ひまな時に学校で勉強したことを復習したり、宿題をしたり、本を読んだりしています。

勉強の時間は、朝7時から11時にかけて、国立小学校の規則です。私は勉強が大好きです。学校でいろいろな科目があります。その中で**英語が一番好きな科目**です。残念ながら、英語が週二回しか勉強できません。小学校は、ただ午前中だけ勉強するので、昼御飯を食べて、1時半に母と畑に行きます。休みの日は朝5時半に起きて、台所に入って、お母さんと御飯と料理を作っています。それにお弁当を作って、8時に農業に行きます。夕方は、家に帰る時に牛やあひるや鳥などをえさをやります。

学校で国語を勉強する以外に、**日本語も勉強したいです**。なぜなら、**近所の人々は、日本へ働きにいったから生活がよくなります**。

将来には、**日本語先生になりたいとおもっています**。



◆原文とおりに転載してあります。

## 日本で仕事をしたいです！

私は、ワー ティダーです。13歳です。

ピムオクニャオン小学校の六年生です。カンダル州のプレクタオン村に住んでいます。私の父の名前はパン ワーです。今、農業をやっています。母はパク スレイメンです。母も農業をやっています。

**私の両親は、2009から2011まで日本で仕事をしました**。

私は勉強が大好きです。毎日7時から11時まで国立小学校で勉強しています。いろいろな科目を勉強しています。その中に**英語が一番勉強したい科目**です。残念ながら、英語が週に二回しか勉強できません。学校が終わってから、両親に家事を手伝っています。晩御飯を食べてから、1人で先生からの宿題をやったり、勉強したことを復讐したり、新しい授業にもちゃんと余習したりしています。休みの日は朝6時に起きて、部屋を掃除して、それから台所に入って、お母さんとご飯と料理を作っています。そして、弁当を作って、畑へ行きます。夕方は家を帰ってきたときに、鶏やあひるなどをえさをやります。

学校で国語を勉強する以外に**日本語と英語と勉強したいです**。

(田舎には日本語の学校がありません)

**家族のために、日本語を一生懸命勉強して日本で仕事をしたいです**。



◆原文とおりに転載してあります。

## アンコールワットの一風景



アンコールワットを正面右側から望む。



左方写真の正門入り口からの写真です。  
この、寺院の周りは全て大きな堀です。  
しかも、寺院は全て大きな石造りです。

3枚の写真から、**巨大さ**が理解できる。



な～んか、みんな仕事を忘れてホクホク顔だね～！



いなほ日本語学校での少しの休憩。左側奥は、阪神化成実習生の母親達。と、右側何かの証拠写真？



メコン河遊覧船の格好良い日本風船長さん？

またまた奇跡。美女は、阪神実習生のお姉さん。



王宮前での、写真専用よそ行きのスマシ顔です！

## 合同カンボジア王国訪問団

実施日＝平成24年2月10日(金)～14日(火)

1日目 10日(金曜日)

富山空港発～仁川経由～シェムリアップ空港着

2日目 11日(土曜日)

A班＝アンコールワット、トム等見学

B班＝小学校へランドセル贈呈式、後A班と合流

G班＝青い空と同化して・・・ゴルフ漫遊記

3日目 12日(日曜日)

A・B班＝ポルポト収容所、王宮、自由市場等見学

G班＝アンコールワット見学

4日目 13日(月曜日)

タイワ精機カンボジア・試験工場視察

駐カンボジア日本大使館・黒木雅文大使訪問

プノンペン日本語学校訪問

メコン河遊覧船回遊

5日目 14日(火曜日)

仁川経由～富山空港着。

### 参加者者名簿

高田順一(訪問団団長)

齋藤博(同副団長)

高井芳樹(同副団長)

橋本洋二、橋本明彩代、寺腰一、高桑勝也、野田俊勝、黒川哲男、伊賀肇、山岸銀七、山岸栄子、荒井孝男、荒井淳子、山本康悦、今藤好介、宇随久、津田義夫、宮岸武、泉野正人、精田隆芳、門前昌志、高井宏子、角昇、中村政勝。以上25名。

### 編集後記

## 夢は、大きく膨らんで…!

本年5月で、設立以来5回目の総会を迎えた。今年の2月に、カンボジアを訪問したが、これで3回目の訪問となった。その間の出来事は枚挙に厭われないが、遂に面白い事業が出来そうだ!

### ●それはホーム・ステイだ!

カンボジアの青少年を数名、富山市に招待し、**富山弁**を教えること? これが、本当の**ホーム・ステイ**と思うけれども如何???

順当に行けば、8月ごろと想定していますが、現在折衝中です。

来富の折には何をすべきか? 皆様からのアイデア募集中!

- ① 語りあいたいこと。
- ② 見せたいところ。
- ③ 受入れたい人。
- ④ その他いろいろ。

◆是非ともご教授、ご協力を賜りたく、小生の携帯番号を記載しておきます。

事務局長・中村政勝090-3763-3409



見る人によって、心配は違います?

- ① 捕まるかも知れない?
- ② 現地風の飴玉しゃぶりかな?
- ③ いやいや、酸素吸入かも?

◆真実は、本人のみ知る、青い空。



有る日、有る時、突然に変身!

◆合掌すれば、世界はひとつ!?

### 国際交流フェスティバル出展のご案内

日時 11月10日(土) PM 1:00～5:00  
11日(日) AM10:00～PM4:30

場所 駅前C i C 3 Fにて。

出展 当カンボジア協会、日華親善協会、中国雲南省友好協会の合同出展。及び、同類似組織約30協会。

主催 国際交流フェスティバル実行委員会。

共催 JICA。とやま国際センター。

富山市民国際交流センター。

後援 富山県。富山市。

入場 **無料。**

当日 中村政勝&3協会関係者**充実**待機。